

## 「第1回全国青年交流会」を東京で開催

—全国から32社・34名が参加—

当組合は、去る10月15日（金）、浦安鉄鋼会館にて、東京支部青年会の全面的バックアップのもと、初の『全国青年交流会』を開催した。

参加者は、青年メンバー34名（北海道支部3名、東京支部21名、東海支部7名、大阪支部2名、九州支部1名）のほか、来賓として高木理事長、酒匂東京支部長、原東京支部副支部長が出席、疋田講師（元気塾主宰・経営ジャーナリスト）も見学会から参加、総勢42名が参集した。

### 1. 見学会（13:00～16:00）

—丸の内高層建築～スカイツリー～東京湾臨海大橋～浦安鉄鋼団地—

当日は、13時に東京駅八重洲南口の鍛冶橋駐車場に集合。バス車内でまず東京支部青年会の長澤会長より歓迎挨拶が行われた後、出発。松丸担当役員の軽快なガイドと高木理事長の詳細な解説を拝聴しながら、最初に丸の内・大手町界隈をゆっくり巡回。JPタワーをはじめ、パレスホテル、東銀ビルなど高層建築物の建設風景を車窓から見学。次にバスは一路浅草方向に走る。東京スカイツリーの建設現場に到着。残念ながら住民クレーム対策によりバス停車と降車ができず、完成時の高さ634mのうち、約480メートルの全貌を真上に眺めながらツリーを後にした。バスは高速道路を南下。東京湾に架かるレインボーブリッジ、台場等を経由して、若洲付近で下車し、建設中の東京湾臨海大橋を見学した。記念撮影後、ディズニーワールドを通過して、長澤会長の説明で浦安鉄鋼団地を巡回した後、15時50分頃鉄鋼会館に到着した。





## 2. 情勢懇談会（16:00～18:00）

### —地区情勢報告、疋田先生の講演会—

引き続き、16時より、同会館2Fホールにて「情勢懇談会」が行われた。議事は以下の通り。

司会：長澤・東京支部青年会会長

- ① 歓迎挨拶 長澤会長
- ② 来賓挨拶 高木理事長

#### 【挨拶要旨】

「円高進行、アジアシフトなど経済情勢は猛スピードで変化しているが、その中で皆さんは強い不安を抱えながら頑張っておられると思う。30～40才代の人達がこれからは切り開いてほしいとの思いで、本日、第一回目の青年交流会を開催することとなった。今後とも本会を定期的に開催し、この機会を通じて若い世代の方々が逞しく飛躍する姿を見せていただきたい。

本会の意義としては、①家業として次代を担う人達が集まり、共通のテーマ（GDPの70割強を占める中小企業がいかにしたら生き生きと経営できるか）について議論し、それらを個々人が血とし肉として次につなげていくことである。また、②今日、明日の事は現社長に任せ、皆さんには明後日以降（3～4年後）のシャリング業の絵を描いてほしい。知恵を絞ってほしい。今までの経営や取引の枠組みは通用しなくなってきている。だから、皆さんの世代が矛盾点や問題点を感じ取ってもらい、全国の共通課題として、新しい枠組み・ルールを自分達で作っていただきたい。そのために近隣の支部同士や、同業種の人達がどのような形でもよいから、集まり、議論することが大事である。

「シャープ業に携わる人が、これからも誇りを持ち、胸を張って生きてゆけるよう頑張って行ってほしい。」

- ③情勢懇談会 北海道（阿部）、東京（福井）、東海（大鹿）、大阪（清水）、九州（野間）の各支部代表より、現状報告が行われた。
- ④講演会 疋田文明氏（元気塾主宰、経営ジャーナリスト）より、1時間にわたりご講演をいただいた。
- ⑤閉会の辞 長澤会長
- ⑥記念撮影 事務局（染宮）



### 3. 交流パーティ（18:00～19:30）

司会：那須・東京支部青年会副会長

①開会挨拶 那須副会長

②来賓挨拶 酒匂副理事長・東京支部長

#### 【挨拶要旨】

「本日は、見学会からスタートし、支部代表の情勢報告、疋田先生の講演をお聞きし、大変有意義な会合だった。先生のお話は実行することが難しいところもあるが、すぐ実行に移すべき点も多く、是非経営に生かしていきたい。そうしないと意味がない。競争と協調のバランス、学ぶことの大切さ等についても改めて共感した。いま景気は最悪で、閉塞感の塊を抱えているようなもので、万策尽きた感もあるが、あきらめず、前向きに、日々の努力を怠らず、少しずつ歩を進めていこう。」

③乾杯 大鹿・東海支部青年会会長

—歓談—

④地区代表挨拶 北海道（阿部）、東京（松本）、大阪（庵地）、九州（野間）各氏より挨拶が行われた。

⑤感想・総括 鉄鋼新聞社（太田）

⑥中締め 長澤・東京支部青年会会長

※新日鉄の絵本シリーズ『新・モノ語り』（1～10巻）を出席者全員に手交して散会した。

以上